



# 宇津木台 森遊会 実施報告

## 「第1回定例活動」

No.2015-01

実施日	2015年4月26日(日) 10:00~13:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 12名(男性11、女性1) 吉川、岡田、中野、伊東、中村(弘)、中村(隆)、田中(康)、矢島、鶴田、徳田、田原、鈴木(健) インストラクター: 金森		

### 実施内容

活動5年目の第一回目。竹林の整備を行った、筍が竹になる前のこの時期に駆除するのが重要である。一昨年、剪定したツツジが白い花を咲かせている。また、シジュウカラが巣箱の周りをうかがっている。新緑が目優しい季節となった。

筍は4月中旬から出ていたようだが、竹林が明るくなり、入りやすくなったためか、掘って持ち帰る者が絶えず、掘った穴や剥いた皮が散在している。さらに裏年(隔年で筍が少ない年)のため、残っている数は少ないと予想したが、それでも100本近くを駆除した。まだまだ見落としがあると思われる。

放置竹林だったエリアを皆伐した際の竹が葉を落とし竹筒だけが無残に残っている。隣接して住宅ができたこともあり、景観を意識して竹筒を一か所にまとめることにした。バケツリレーで約1時間、すっかり綺麗になった。このままでは裸地のため大雨が降れば土砂が流れる恐れがある。これから夏にかけて生えてくる低木や笹を適度に残す必要がある。

一か所に移動した竹(廃材)は処分方法を検討してゆく必要がある。ある程度朽ちたら緑地の境界に積んでゆくのがよいのではないかと。燃やす、チップパーにかけるのは現実的ではない。

昼食時に駆除した筍をたき火で焼く、香ばしいにおい、エグミの無い、緑地からの贈り物であった。



ツツジが開花



裏年なので少ないと予想したが、注意深く探して100本近くを駆除した



伐りっぱなしで葉が落ちて無残な姿となっている竹筒



バケツリレーで一か所に集める



お疲れさまでした



昼食は持参、おかげで筍を直火焼き



しっかり焼くのがコツ



皮を剥いて、固い部分を取り除く



緑地からの贈り物

**連絡事項** ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は大1、小1個を指定の場所に置く。